

2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月4日
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
 定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,751	25.5	488	55.7	488	7.5	336	2.9
2020年12月期	2,192	22.0	313	△0.4	454	△26.5	326	△26.8

(注) 包括利益 2021年12月期 367百万円(191.3%) 2020年12月期 126百万円(△24.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	50.90	50.00	19.0	20.3	17.8
2020年12月期	49.70	48.60	21.6	20.8	14.3

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 一百万円 2020年12月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	2,640	1,967	74.1	295.42
2020年12月期	2,175	1,583	72.8	240.06

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,956百万円 2020年12月期 1,583百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	449	△134	△65	1,121
2020年12月期	△18	△134	△68	890

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年12月期の配当については、現在未定であります。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのための事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	6,751,000株	2020年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期	128,696株	2020年12月期	156,625株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	6,608,170株	2020年12月期	6,573,958株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,751	25.5	457	66.6	465	9.7	317	4.9
2020年12月期	2,192	22.0	274	△6.6	423	△30.0	302	△30.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期	47.99		47.15					
2020年12月期	45.98		44.97					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
2021年12月期	2,560		1,895		73.6	284.56
2020年12月期	2,154		1,553		72.1	235.60

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,884百万円 2020年12月期 1,553百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的パンデミックを契機としたデジタル化の進展によって「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）の一体化」が加速し、新たな価値の創出につながるSociety 5.0実現へと向かっています（出典：総務省「令和3年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、保有する基盤コア技術を応用したビジネスデザイン、すなわち、クラウドマネージ、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Everything）、そして人間の能力を拡張させるIoA（Abilities）分野におけるビジネスデザイン・プロジェクトを、国内だけではなくグローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当連結会計年度においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は507,416千円純増しました。これにより、上場以来28四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく極めて堅調に推移しております。なお、現在も積極的に先行投資を継続して実施していますが、当連結会計年度における営業利益の増減率は+55.7%、経常利益の増減率は+7.5%となり、前連結会計年度における営業利益の増減率△0.4%、経常利益の増減率△26.5%を大幅に上回りました。

IoT分野では、IoTエンジン「NEQTO」をベースに、あらゆる事業者のエンタープライズレベルのIoTソリューションに大きく寄与するスピーディーかつシンプルなソフトウェアサービスを展開しています。量産ハードウェア向け超極小IoT組み込みソフトウェアの「NEQTO-m」の提供を開始し、米国本土でのIoT基盤設置を完了することで米国顧客へのサービス価値を大幅に高めており、更なる深耕のための取り組みを継続しております。さらに、今後飛躍的に増加していくIoTデータコントロール・クラウドマネージドサービスへの要望に応えるため、国内外トリプル拠点に加え、大型の新コントロールセンター（SCC N44）開設によるサービス体制を強化しました。また、視覚再生プロジェクト「NEW-VISION」においては米国及び日本、台湾で特許を取得し、自動操縦標準機開発プロジェクトにおいては施工現場への実証実験を実施するなど、各プロジェクトを実用化に向けて着実に推進しております。引き続き今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資である研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較し約284,000千円大幅に増加させております。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高2,751,120千円（前連結会計年度比25.5%増）、営業利益488,374千円（前連結会計年度比55.7%増）、経常利益488,230千円（前連結会計年度比7.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益336,335千円（前連結会計年度比2.9%増）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、1,790,834千円（前連結会計年度末比372,913千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比235,470千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比114,565千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、849,724千円（前連結会計年度末比91,713千円増）となりました。これは主に、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比47,917千円増）、繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比23,293千円増）、投資有価証券が増加（前連結会計年度末比21,003千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における総資産は、2,640,558千円となり、前連結会計年度末に比べ464,627千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、560,594千円（前連結会計年度末比142,613千円増）となりました。これは主に、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比77,624千円増）、買掛金が増加（前連結会計年度末比57,598千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、112,435千円（前連結会計年度末比62,438千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比60,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における負債合計は、673,029千円となり、前連結会計年度末に比べ80,174千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、1,967,528千円（前連結会計年度末比384,452千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が増加（前連結会計年度末比218,812千円増）、自己株式が減少（前連結会計年度末比123,727千円減）したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,121,259千円（前連結会計年度末比230,968千円増）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により獲得した資金は、449,820千円（前連結会計年度は18,913千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益480,191千円の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額99,238千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、134,657千円（前連結会計年度は134,441千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出105,695千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により支出した資金は、65,246千円（前連結会計年度は68,505千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出68,018千円により資金が減少したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率 (%)	75.3	65.7	72.8	74.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	657.8	1,334.2	3,379.1	1,592.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.2	1.8	△12.9	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,161.3	810.6	△39.6	1,235.8

(注) 1. 各指標の計算方法は、次のとおりであります。

自己資本比率＝自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額÷総資産

※株式時価総額＝期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）

キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業キャッシュ・フロー÷利払い

2. 各指標は連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 有利子負債は貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象とし、営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを、また、利払いはキャッシュ・フロー計算書に計上されている利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのための事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,290	1,125,761
売掛金	425,967	540,532
その他	101,704	124,594
貸倒引当金	△41	△54
流動資産合計	1,417,920	1,790,834
固定資産		
有形固定資産		
建物	203,566	257,147
減価償却累計額	△43,352	△64,550
建物(純額)	160,213	192,596
工具、器具及び備品	195,698	246,218
減価償却累計額	△97,472	△132,458
工具、器具及び備品(純額)	98,225	113,759
有形固定資産合計	258,439	306,356
無形固定資産	41,081	45,375
投資その他の資産		
投資有価証券	96,663	117,666
敷金及び保証金	235,790	238,321
繰延税金資産	83,653	106,947
その他	42,921	36,385
貸倒引当金	△540	△1,328
投資その他の資産合計	458,489	497,991
固定資産合計	758,010	849,724
資産合計	2,175,930	2,640,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,985	188,583
1年内返済予定の長期借入金	68,018	60,000
未払法人税等	39,437	117,062
その他	179,540	194,948
流動負債合計	417,981	560,594
固定負債		
長期借入金	165,000	105,000
その他	9,874	7,435
固定負債合計	174,874	112,435
負債合計	592,855	673,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	1,630,995	1,849,807
自己株式	△696,232	△572,504
株主資本合計	1,596,451	1,938,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,311	4,179
為替換算調整勘定	△10,067	13,202
その他の包括利益累計額合計	△13,379	17,381
新株予約権	2	11,155
純資産合計	1,583,075	1,967,528
負債純資産合計	2,175,930	2,640,558

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,192,768	2,751,120
売上原価	635,398	864,776
売上総利益	1,557,369	1,886,343
販売費及び一般管理費	1,243,605	1,397,968
営業利益	313,764	488,374
営業外収益		
受取利息	35	22
受取配当金	420	140
受取手数料	—	1,979
助成金収入	4,569	5,207
為替差益	1,817	—
投資有価証券売却益	134,238	—
その他	76	42
営業外収益合計	141,158	7,393
営業外費用		
支払利息	477	364
為替差損	—	6,186
その他	292	986
営業外費用合計	770	7,537
経常利益	454,152	488,230
特別損失		
解約手数料	11,448	8,038
特別損失合計	11,448	8,038
税金等調整前当期純利益	442,704	480,191
法人税、住民税及び事業税	133,423	170,364
法人税等調整額	△17,451	△26,509
法人税等合計	115,971	143,855
当期純利益	326,732	336,335
親会社株主に帰属する当期純利益	326,732	336,335

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	326,732	336,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191,204	7,491
為替換算調整勘定	△9,520	23,269
その他の包括利益合計	△200,724	30,761
包括利益	126,007	367,096
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	126,007	367,096
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	346,482	305,955	1,325,238	△718,458	1,259,219
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	4,625	4,625			9,250
親会社株主に帰属する当期純利益			326,732		326,732
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		△20,976		22,226	1,250
自己株式処分差損の振替		20,976	△20,976		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,625	4,625	305,756	22,226	337,232
当期末残高	351,107	310,580	1,630,995	△696,232	1,596,451

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	187,892	△547	187,345	2	1,446,567
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					9,250
親会社株主に帰属する当期純利益					326,732
自己株式の取得					—
自己株式の処分					1,250
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△191,204	△9,520	△200,724	—	△200,724
当期変動額合計	△191,204	△9,520	△200,724	—	136,507
当期末残高	△3,311	△10,067	△13,379	2	1,583,075

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,107	310,580	1,630,995	△696,232	1,596,451
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					—
親会社株主に帰属する当期純利益			336,335		336,335
自己株式の取得				△796	△796
自己株式の処分		△117,523		124,523	7,000
自己株式処分差損の振替		117,523	△117,523		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	218,812	123,727	342,539
当期末残高	351,107	310,580	1,849,807	△572,504	1,938,991

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3,311	△10,067	△13,379	2	1,583,075
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					—
親会社株主に帰属する当期純利益					336,335
自己株式の取得					△796
自己株式の処分					7,000
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,491	23,269	30,761	11,152	41,913
当期変動額合計	7,491	23,269	30,761	11,152	384,452
当期末残高	4,179	13,202	17,381	11,155	1,967,528

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	442,704	480,191
減価償却費	55,128	67,891
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	801
受取利息及び受取配当金	△455	△163
支払利息	477	364
投資有価証券売却損益 (△は益)	△134,238	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△143,087	△114,565
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,473	57,598
その他	△15,935	52,051
小計	226,080	544,169
利息及び配当金の受取額	100	45
助成金の受取額	4,569	5,207
利息の支払額	△477	△364
法人税等の支払額	△249,187	△99,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,913	449,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△171,464	△105,695
無形固定資産の取得による支出	△7,569	△6,754
敷金及び保証金の差入による支出	△60,022	△7,706
投資有価証券の取得による支出	—	△10,120
投資有価証券の売却による収入	134,238	—
その他	△29,623	△4,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,441	△134,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△75,996	△68,018
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,250	—
自己株式の処分による収入	1,250	7,000
自己株式の取得による支出	—	△796
その他	△3,009	△3,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,505	△65,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,923	△18,947
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△214,936	230,968
現金及び現金同等物の期首残高	1,105,226	890,290
現金及び現金同等物の期末残高	890,290	1,121,259

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	240.06円	295.42円
1株当たり当期純利益金額	49.70円	50.90円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	48.60円	50.00円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	326,732	336,335
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	326,732	336,335
普通株式の期中平均株式数(株)	6,573,958	6,608,170
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	148,259	118,296
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第6回新株予約権 新株予約権の数 28個 (普通株式 2,800株)	第6回新株予約権 新株予約権の数 21個 (普通株式 2,100株) 第7回新株予約権 新株予約権の数 106個 (普通株式 10,600株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。